

地域包括ケアシステム構築に向けて
((公財) 県老人クラブ連合会様)

○安心して暮らせる高齢化社会

⇒社会保障制度の安定

- ・認知症の問題
- ・10年後の2025年には65歳以上高齢者が3千7百万人弱
＝ 認知症高齢者7百万人 (約5人に1人)

○これまでの取り組み

- ・老人クラブ活動を通じた介護予防
健康づくりリーダー養成研修会の開催
H26実績 3回、参加者 43人
生きがい対策の推進
老人囲碁大会 (H26参加者43人)、老人将棋大会 (H26参加者31人) 等の開催
- ・友愛活動による地域での見守り活動と高齢者の社会参加の推進
H26老人クラブ訪問支援活動実績
支援活動員 1,263人 (富山市除く)
訪問対象者数 3,471人 (富山市除く)
延べ訪問回数 30,710回 (富山市除く)
※富山市は、介護予防推進リーダー (590人) が介護予防等の集いの場で健康
チェック等を実施
- ・訪問活動推進員に対する情報交換会の開催
H26実績 3回、参加者 128人
- ・高齢者訪問支援活動推進リーダー養成研修会の開催
H26実績 6回、修了者 198人

○これからの取り組み

- ・地域のリーダー養成
⇒ ・地域ケアシステムの担い手
・見守り活動、生活支援活動の推進

地域包括ケアシステム構築に向けての具体的な取組み事項

(富山県生活協同組合連合会様)

【平成26年度取組み】

〉平成27年4月からの介護保険制度改定に向けた市町村訪問の実施と調査活動

訪問趣旨 予防給付（訪問介護・通所介護）の地域支援事業への意向にあたって、市町村の取組み状況をお聞きするとともに、生協の現在の取組み内容をお知らせしながら双方で意見交換をさせて頂きました。意見交換を積み重ねる中で、県民、住民の皆様がいつでも安心して暮らすための一助となるよう生協の出来る事を考えていきたいと考えています。又、地域の各種団体との協力についても今まで以上に取組みながらより効果的取組みとなるよう努めます。

一方、行政には利用者のサービス低下や不便が生じないよう要望をしたいと考えています。このことをお伝えするのも訪問の大きな目的の一つです。

訪問経過 10月黒部市、滑川市、富山市、高岡市、砺波市、南砺市の6市を訪問し、担当部署と懇談しました。又、各市の「地域総合事業の構築に関する市町村調査」をお願いし、協力を頂きました。

事前に、3つの生協（県生協・CO・OPとやま・医療生協）の「生協の事業・生活支援サービス・介護・医療関連サービス」の現状のデータを集約し、各訪問先に参考資料としてお渡ししました。

〉平成27年4月からの介護保険制度改定に向けた学習会の開催

10月 県高齢福祉課、富山市長寿福祉課及び日本生協連の担当者を講師にお招きして、「地域包括ケアシステム学習会」を45名の参加で開催

2月 JA中央会、県厚生連、県社会福祉協議会と生協連で実行委員会を構成し、「第16回地域協同シンポジウム」を約180名で開催。テーマは「介護保険制度の見直しと私たちの暮らし」、講師は「全国社会福祉協議会地域福祉部長左甲学さんと富山市社会福祉保健部長寿福祉課主幹岩田大史さん」。あわせて、高齢者のための「シルバーリハビリ体操」を参加者全員で実施しました。

〉11月介護職員調理グランプリ富山大会を開催

訪問介護職員の日頃の調理実践の披露と交流を通じた良質な介護サービス向上、「食べる」ことの大切さを知り、また、「専門家による生活援助の重要性」を学習しました。

〉6市町との高齢者見守り協定の締結

朝日町、入善町、滑川市、上市町、立山町、射水市

〉認知症サポーター養成講座の開催

CO・OPとやま 生協役職員向け、特に宅配事業担当者を中心 3回48名

県生協 組合員及び一般県民向け 3回102名

医療生協 組合員及び一般県民向け 3回70名

） 助け合い活動組織の拡大・充実

CO・OPとやま ふれあいサロンの開催 11回159回
 県生協 助け合い活動時間3,318時間、活動会員78名、利用者70名
 他に賛助会員194名
 医療生協 助け合い活動1,713回2,320時間、協力者292名、利用者360名
 コーディネーター24名を配置して充実してきました。
 健康づくり活動 84回708名

） 夕食宅配の充実 県生協 2014年3月末時点1日あたり約330食

） 移動販売車 CO・OPとやまの1台稼働

） 3月黒部市に介護事業所を新規開設 「けんせいきょう・輝きくろべ」

【平成27年度取組み計画】 (5月31日現在の計画)

） 介護保険制度改定に関する市町村訪問を継続します。

） 引き続き、締結していない市町村との高齢者見守り協定の締結を進めます。

） 今年度も介護職員調理グランプリを開催し、訪問介護職員の調理技術の向上を図り、良質な介護サービスの提供を目指します。

） 認知症サポーター養成講座の継続的開催

CO・OPとやま 6月30日、7月2日開催を計画

県生協 3回開催、参加者80人で計画

医療生協 計画策定中

*新規 生協連 新たに認知症サポーターの登録をしている方々を対象にしたレベルアップ講座を開催します。

） 助け合い活動組織の拡大（活動会員の増）を図り、利用者数の増と活動時間を増やします。

CO・OPとやま ふれあいサロンの開催を11回計画

県生協 活動時間2,600時間、活動会員・利用会員・賛助会員の増

医療生協 コーディネーターを24名

新コーディネーター3名（交代2、保育担当1）

協力者、利用者の増

） 夕食宅配の配達エリア拡大と利用数量のアップを目指します。

） 移動販売車について、対応エリア等今後の検討課題としています。

地域包括ケアシステム構築に向けての具体的な取組み事項
(株式会社北陸銀行様)

- 外交員による訪問時の声掛けや見守りの推進
- 窓口での声掛けやチラシ配布等による特殊詐欺防止への取組み推進
- 認知症サポーター養成等による高齢者にやさしい店舗づくりへの取組み
- 高齢者の作品を展示するロビー展等の開催による高齢者の生きがいづくりへの取組み
- 従業員の健康づくりやワークライフバランス、ボランティア活動への参加の推進